

令和7年度小郡市小学校標準学力調査の実施について（報告）

令和8年3月

小郡市教育委員会では、令和6年度から小学校3年生以上でタブレットを使ったオンラインによるCBT調査として実施しています。

本年度の調査結果が出ましたので、紙媒体からオンラインに変更したことの「趣旨目的」及び「分析結果」について教職員及び保護者の皆様方へ報告いたします。

1 小郡市標準学力調査とは

小郡市標準学力調査は、学習指導要領の内容を踏まえて、子どもたちの学力を適切に図るための調査です。例年12月に、市内小学校1年生から6年生を対象に、国語と算数の2教科（5年生のみ社会と理科を合わせた4教科）を紙媒体で実施してきました。

2 『CBTによる調査』への変更の趣旨について

（1）『CBTによる調査』とは

CBTとはComputer based testingの略で、パソコンやタブレットなどのコンピューターを使って実施する試験方式のことです。

（2）『CBTによる調査』に移行した目的について

《社会の動向から》

急激に変化する情報化社会とその対応のために、教育分野においても教育DX（教育分野におけるデジタル技術の活用）が求められており、大学入試や就職試験等でデジタル技術を導入していこうとする動きが見られます。

《CBT化のよさ》

- 「主体的・対話的で深い学び」による授業場面を意図した出題が可能。
- 児童も教師も調査結果を常時閲覧でき、児童自らがその伸びや課題を確かめられる。
- 児童一人一人が自分の伸びや課題に応じて、主体的な学習を進めることが可能。

《CBTの特徴》

- ・ 学習指導要領を踏まえた問題（思考力、判断力、表現力を重視）
- ・ 動画や音声を再生して情報を取り出す問題
- ・ タッチ、ドラッグ、動画の再生及び停止、ページの切り替え等の技能が必要

《国・県の学力調査の動向》

上記のような社会の動向やCBTのよさ及び特徴を踏まえて、国や県でも学力調査のCBT化の動きがあります。

□ 今後の全国・学力学習状況調査CBT化（案） 一文部科学省HPより一

	教科	R7	R8	R9	R10
小学校	国語	紙実施	紙実施	CBT	CBT
	算数	紙実施	紙実施	CBT	CBT
	理科	紙実施			CBT
中学校	国語	紙実施	紙実施	CBT	CBT
	数学	紙実施	紙実施	CBT	CBT
	理科	CBT			CBT
	英語		CBT		

□ 令和8年度福岡県学力・学習状況調査（CBT）実施予定

調査期間：令和8年5月18日（月）～5月29日（金） ※日程調整中

調査対象（全てCBT実施）

- 小学5学年・・・（国語、算数）
- 中学1年生・・・（国語、数学）
- 中学2年生・・・（国語、数学、英語）

3 令和7年度小郡市小学校標準学力調査結果について

(1) 小郡市小学校全体の結果と傾向

- 1年生の国語、算数は、どちらも全国平均値を上回り、小学校入学後の学校及び家庭での丁寧な学習習慣の成果と考える。
- CBTが初めての3年生、2回目の4年生における算数は、全国平均値を上回る結果となった。これは、低学年のうちからタブレットの使用頻度が上がってきたことや、タブレットを使った問題解決的な学びが充実してきた成果と考える。

(2) 小郡市小学校全体の▲課題（要因分析）及び→改善策

- ▲国語は、2年生から6年生までの学年で全国平均値を下回った。
(テレビやスマホなどを視聴する時間が長くなり、じっくり読書する時間が減少している)
※これらの時間を『スクリーンタイム』と言い、小郡市としても課題に挙げています。
- 学校での「情報モラル教育」や家庭での「ルールの見直し」
(「説明文」や「物語文」の問題で、ページを行き来する動作に慣れていない)
- タイピング技能の向上《小郡市の指標/1分間》 +スクロール、ドラッグ等スキル
小学校中学年・・・50文字、高学年・・・60文字、中学生・・・70文字

4 小郡市の子どもたちの※『スクリーンタイム』の現状

Q.平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。
(令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査より)

小郡市内小・中学生



小・中学生ともに、学習以外でスマホやパソコン等の画面を見る時間が大変長くなっています。特に小学5年生男子と中学生は3時間以上が4割を超えています。睡眠や健康への影響以外にも、SNSに関するトラブルも増加傾向にあります。家庭でのルールを守れているか親子で確認し合い、情報リテラシーの向上に努めましょう。

例えば、小郡市内の中学校2年生男子の平日における『スクリーンタイム』は、

4時間以上が21.7%
3時間以上が28.2%

つまり、中2男子の約50%の生徒が平日に3時間以上

テレビやスマホ等の画面を見ていることが分かります！

5 標準学力調査結果を一人一人の学びに活かす

小郡市では、標準学力調査結果を基に、一人一人の学力保障に努めていきます。また、下のよう、市内全小学校で利用している『タブレットドリル』との連携もできますので、ぜひ、学校の先生と相談しながら、一人一人に合った自主学習に活かしてほしいと思っています。

》 [児童・生徒] 自主学習への活かし方 ~子どもたちが解くことができる復習教材を利用しよう!~

目的:「やりっぱなしは嫌だけど教材を準備する時間がない」「いつでもどこでも端末で復習したい」

デジタルフォローアップドリルの使い方

- 1 児童・生徒用のtotal IDでログインし、マイアセスの「ふくしゅうをする」を押します。[デジタルフォローアップドリル] を選びます。



- 2 児童・生徒一人ひとりに合う課題がサジェストされます。デジタルフォローアップドリルで復習します。



タブドリLive!を使って、学力調査で明らかになった弱点を、復習することができます。
※タブドリLive!のご利用にはライセンス(有償)が必要です。

※デジタルフォローアップドリルは無料でご利用することができます。